

改正後	改正前
<p>(自主検査指針の公表)</p> <p>第二十九条の四 第二十四条の規定は、<u>法第四十五条第四項</u>の規定による自主検査指針の公表について準用する。</p> <p>(特定自主検査)</p> <p>第三百三十五条の三 (略)</p> <p>2 動力プレスに係る<u>法第四十五条第二項</u>の厚生労働省令で定める資格を有するものは、次の各号のいずれかに該当する者とする。</p> <p>一・二 (略)</p> <p>3・4 (略)</p> <p>(特定自主検査)</p> <p>第五百五十一条の二十四 <u>フォークリフトに係る特定自主検査は、第五百五十一条の二十一に規定する自主検査とする。</u></p> <p>2 <u>フォークリフトに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものは、次の各号のいずれかに該当する者とする。</u></p> <p>一 次のいずれかに該当する者で、厚生労働大臣が定める研修を修了したもの</p> <p>イ 学校教育法による大学又は高等専門学校において工学に関する学科を専攻して卒業した者で、<u>フォークリフトの点検若しくは整備の業務に二年以上従事し、又はフォークリフトの設計若しくは工作の業務に五年以上従事した経験を有するもの</u></p> <p>ロ 学校教育法による高等学校又は中等教育学校において工学に関する学科を専攻して卒業した者で、<u>フォークリフトの点</u></p>	<p>(自主検査指針の公表)</p> <p>第二十九条の四 第二十四条の規定は、<u>法第四十五条第三項</u>の規定による自主検査指針の公表について準用する。</p> <p>(特定自主検査)</p> <p>第三百三十五条の三 (略)</p> <p>2 動力プレスに係る<u>法第四十五条第二項</u>の厚生労働省令で定める資格を有する労働者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。</p> <p>一・二 (略)</p> <p>3・4 (略)</p> <p>(特定自主検査)</p> <p>第五百五十一条の二十四 <u>フォークリフトに係る特定自主検査は、第五百五十一条の二十一に規定する自主検査とする。</u></p> <p>2 <u>フォークリフトに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。</u></p> <p>一 次のいずれかに該当する者で、厚生労働大臣が定める研修を修了したもの</p> <p>イ 学校教育法による大学又は高等専門学校において工学に関する学科を専攻して卒業した者で、<u>フォークリフトの点検若しくは整備の業務に二年以上従事し、又はフォークリフトの設計若しくは工作の業務に五年以上従事した経験を有するもの</u></p> <p>ロ 学校教育法による高等学校又は中等教育学校において工学に関する学科を専攻して卒業した者で、<u>フォークリフトの点</u></p>

<p>検若しくは整備の業務に四年以上従事し、又はフォークリフトの設計若しくは工作の業務に七年以上従事した経験を有するもの</p>	<p>ハ フォークリフトの点検若しくは整備の業務に七年以上従事し、又はフォークリフトの設計若しくは工作の業務に十年以上従事した経験を有する者</p> <p>ニ フォークリフトの運転の業務に十年以上従事した経験を有する者</p>	<p>二 (略)</p> <p>3 事業者は、運行の用に供するフォークリフト（道路運送車両法第四十八条第一項の適用を受けるものに限る。）について、同項の規定に基づいて点検を行った場合には、当該点検を行った部分については第五十一条の二十一の自主検査を行うことを要しない。</p>	<p>4 フォークリフトに係る特定自主検査を検査業者に実施させた場合における前条の規定の適用については、同条第五号中「検査を実施した者の氏名」とあるのは、「検査業者の名称」とする。</p>	<p>5 事業者は、フォークリフトに係る自主検査を行ったときは、当該フォークリフトの見やすい箇所に、特定自主検査を行った年月を明らかにすることができ、検査標章をはり付けなければならない。</p>	<p>(特定自主検査)</p> <p>第二百五十一条の五十六 (略)</p> <p>2 第二百五十一条の二十四第二項の規定は、不整地運搬車に係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものについて準用する。この場合において、第二百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「不整地運搬車」と読み替えるものとする。</p> <p>3 5 (略)</p>
<p>検若しくは整備の業務に四年以上従事し、又はフォークリフトの設計若しくは工作の業務に七年以上従事した経験を有するもの</p>	<p>ハ フォークリフトの点検若しくは整備の業務に七年以上従事し、又はフォークリフトの設計若しくは工作の業務に十年以上従事した経験を有する者</p> <p>ニ フォークリフトの運転の業務に十年以上従事した経験を有する者</p>	<p>二 (略)</p> <p>3 事業者は、運行の用に供するフォークリフト（道路運送車両法第四十八条第一項の適用を受けるものに限る。）について、同項の規定に基づいて点検を行った場合には、当該点検を行った部分については第五十一条の二十一の自主検査を行うことを要しない。</p>	<p>4 フォークリフトに係る特定自主検査を検査業者に実施させた場合における前条の規定の適用については、同条第五号中「検査を実施した者の氏名」とあるのは、「検査業者の名称」とする。</p>	<p>5 事業者は、フォークリフトに係る自主検査を行ったときは、当該フォークリフトの見やすい箇所に、特定自主検査を行った年月を明らかにすることができ、検査標章をはり付けなければならない。</p>	<p>(特定自主検査)</p> <p>第二百五十一条の五十六 (略)</p> <p>2 第二百五十一条の二十四第二項の規定は、不整地運搬車に係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者について準用する。この場合において、第二百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「不整地運搬車」と読み替えるものとする。</p> <p>3 5 (略)</p>

(特定自主検査)

第百六十九条の二 (略)

2 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七一号、第二号又は第六号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものについて準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号イからハまでの規定中「フォークリフト」とあるのは「車両系建設機械のうち令別表第七一号、第二号若しくは第六号に掲げるもの」と、同号ニ中「フォークリフト」とあるのは「車両系建設機械のうち令別表第七一号、第二号又は第六号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

3 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七三号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものについて準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「車両系建設機械のうち令別表第七三号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

4 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七四号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものについて準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「車両系建設機械のうち令別表第七四号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

5 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七五号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものについて準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「車両系建設機械のうち令別表第七五号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

6  
8 (略)

(特定自主検査)

第百六十九条の二 (略)

2 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七一号、第二号又は第六号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者について準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号イからハまでの規定中「フォークリフト」とあるのは「車両系建設機械のうち令別表第七一号、第二号若しくは第六号に掲げるもの」と、同号ニ中「フォークリフト」とあるのは「車両系建設機械のうち令別表第七一号、第二号又は第六号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

3 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七三号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者について準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「車両系建設機械のうち令別表第七三号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

4 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七四号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者について準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「車両系建設機械のうち令別表第七四号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

5 第百五十一条の二十四第二項の規定は、車両系建設機械のうち令別表第七五号に掲げるものに係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者について準用する。この場合において、第百五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「車両系建設機械のうち令別表第七五号に掲げるもの」と読み替えるものとする。

6  
8 (略)

<p>(特定自主検査)</p> <p>第九十四条の二十六 (略)</p> <p>2 第五十一条の二十四第二項の規定は、高所作業車に係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものについて準用する。この場合において、第五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「高所作業車」と読み替えるものとする。</p> <p>3 5 (略)</p> <p>附 則</p> <p>(労働安全衛生法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有するものに関する暫定措置)</p> <p>第二十五条の三 (略)</p>	<p>(特定自主検査)</p> <p>第九十四条の二十六 (略)</p> <p>2 第五十一条の二十四第二項の規定は、高所作業車に係る法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者について準用する。この場合において、第五十一条の二十四第二項第一号中「フォークリフト」とあるのは、「高所作業車」と読み替えるものとする。</p> <p>3 5 (略)</p> <p>附 則</p> <p>(労働安全衛生法第四十五条第二項の厚生労働省令で定める資格を有する労働者に関する暫定措置)</p> <p>第二十五条の三 (略)</p>
--	--